

【広島市消費者物価指数】

1 平成 25 年 1 月の動向

- 広島市総合指数（98.8）は前月比で 3 か月ぶりに上昇。前年同月比は 8 か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（98.8）は前月比で 3 か月連続の下落。前年同月比は 9 か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.3）は前月比で 9 か月連続の下落。前年同月比は 17 か月連続の下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	98.8	0.1	▲1.1
生鮮食品を除く総合指数	98.8	▲0.2	▲0.8
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.3	▲0.4	▲1.5

3 前月からの動き

～食料は上昇、被服及び履物は下落。～

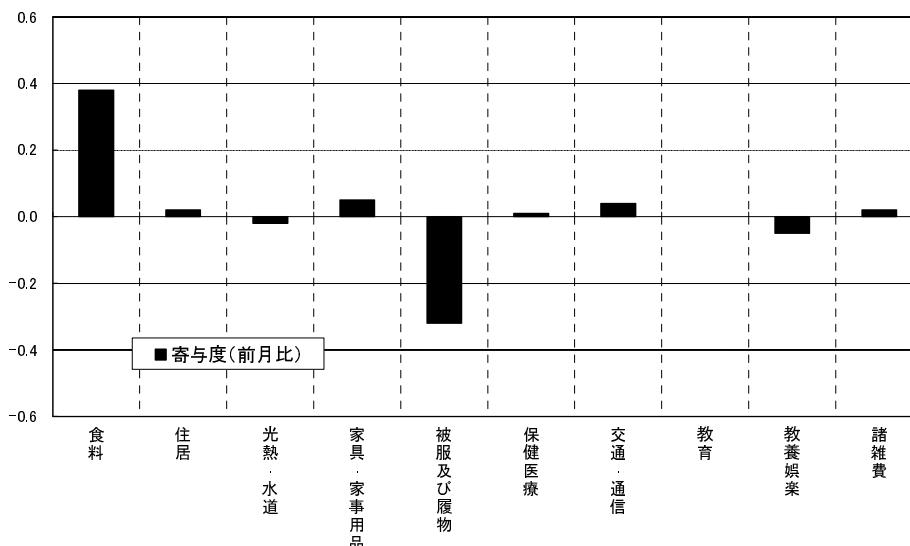
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	98.8	99.9	99.2	105.5	91.7	94.8	98.6	100.9	98.4	91.0	103.4
前月比 (%)	0.1	1.5	0.1	▲ 0.2	1.4	▲ 6.9	0.2	0.3	0.0	▲ 0.5	0.3
寄与度	0.1	0.38	0.02	▲ 0.02	0.05	▲ 0.32	0.01	0.04	0.00	▲ 0.05	0.02

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：野 菜 ・ 海 藻（前月比 8.9%，寄与度 0.22）等
 被服及び履物：洋 服（前月比 ▲12.1%，寄与度 ▲0.24）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻 (キャベツ 等)	8.9%	洋服 (婦人コート 等)	▲12.1%
果物 (いちご 等)	11.7%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲1.0%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.7%	シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	▲5.9%
教養娯楽用品 (切り花[きく] 等)	2.0%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲2.3%
調理食品 (うなぎかば焼き 等)	1.0%	他の被服類 (マフラー 等)	▲8.6%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道は上昇、家具・家事用品、教養娯楽、食料は下落。～

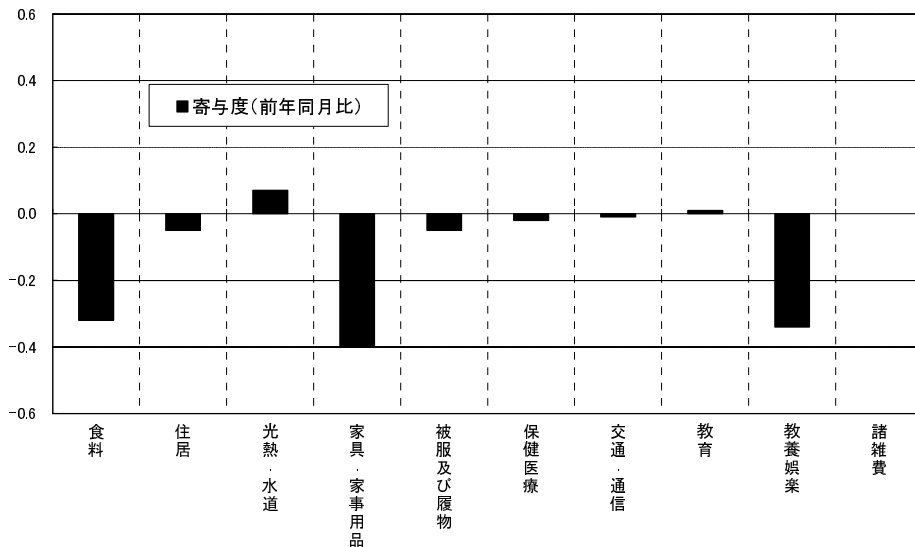
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 0.3	0.8	▲ 9.8	▲ 1.3	▲ 0.3	▲ 0.1	0.2	▲ 3.2	0.0
寄与度	▲ 1.1	▲ 0.32	▲ 0.05	0.07	▲ 0.40	▲ 0.05	▲ 0.02	▲ 0.01	0.01	▲ 0.34	0.00

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 光熱・水道: ガス代 (前年同月比 1.7%, 寄与度 0.03) 等
- 家具・家事用品: 家庭用耐久財 (前年同月比 ▲22.7%, 寄与度 ▲0.38) 等
- 教養娯楽: 教養娯楽サービス (前年同月比 ▲2.7%, 寄与度 ▲0.16) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.8%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲22.7%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	1.3%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲7.5%
菓子類 (チョコレート 等)	1.7%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲2.7%
調理食品 (うなぎかば焼き 等)	1.1%	魚介類 (ぶり 等)	▲5.7%
乳卵類 (鶏卵 等)	2.5%	通信 (携帯電話機 等)	▲3.2%